

回答対象：就労継続支援B型

当初作成日	令和8年8月1日
計画修正日（記入年月日）	令和8年8月4日
作成者	合田 義範
電話番号	9060761899
メールアドレス	nod_@nagasaki.jp

令和7年度中に多機能型に移行した場合、時点を記載すること（例）2026/02多機能
令和7年度中に休止した場合、時点を記載すること（例）2025/05休止
令和7年度新設の場合は○印を記載すること

工賃向上計画

本工賃向上計画（PDCAサイクルの確立）について、管理者が中心となり、事業所の全職員、利用者、家族の了解を得て、共有しましたか。

上記質問に右欄のプルダウン選択によって回答すること

【記載の留意事項】

- 本調査は、特段の記載のない限り、前年度実績について記載すること
- 多機能型事業所の場合、A型（雇用型）、A型（非雇用型）、B型等それぞれの事業所ごとに作成すること
- 黄色部分だけ入力すること。白色の項目は自動計算のため入力しないこと

1. 事業所概要

指定番号	千葉県	※プルダウン選択
法人番号	6110001030129	※法人ごとに指定される13桁の番号（【参考】 https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/ ）
法人種別	4=営利法人（株式・合名・合資・合同会社）	※プルダウン選択
法人名	アイデン株式会社	
事業所番号	1213600487	※事業所ごとに指定される10桁の番号
事業種別	就労継続支援B型	※プルダウン選択
多機能型の有無	有	※プルダウン選択
指定年月日	令和4年10月1日	
令和7年度は開設から何年度目か	4年目	※プルダウン選択
事業所名	ゆみの里	
事業所所在地	05 船山市	※プルダウン選択
利用定員	10	※令和8年3月31日時点の定員を記載すること。
報酬体系（従事員配置）	従業員配置6・1以上	※プルダウン選択
目標工賃達成指導員配置加算の有無	有	※プルダウン選択
平均工賃月額（令和7年度）	4万5000円以上	※プルダウン選択
重症障害者支援体制加算の有無	無	※プルダウン選択

2. 目標工賃の設定・工賃実績

- 令和7年度の工賃実績、令和8年度3月31日の目標工賃額を記載すること
- 目標額は、国の指針（平成24年4月11日労発0411第4号厚生労働省障害福祉課長通知）に基づき、下記の項目を勘案して設定すること
 - A 各事業所の前年度の平均工賃実績
 - B 地域の実情を踏まえ、障害年金と合算して、障害者が地域で自立した生活を実現するため必要な収入
 - C 地域の最低賃金や一般雇用されている障害者の賃金
 - D 千葉県の目標工賃（令和6年度 16,185円、令和7年度 16,592円、令和8年度 17,000円）
- （参考）千葉県の平均工賃（令和6年度 23,646円）
- （参考）全国の平均工賃（令和6年度 24,141円）

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	実績	目標額	実績	目標額	目標額	
①売上総額（円）	3,999,694 円	4,100,000 円	3,656,901 円	3,700,000 円	3,800,000 円	※生産活動に係る事業収入
②経費総額（円）	1,890,688 円	1,800,000 円	1,669,248 円	1,600,000 円	1,650,000 円	※生産活動に必要な経費（利用者の賃金を除く）
③工賃変動積立金（円）	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	
④設備等整備費積立金（円）	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	
⑤工賃変動積立金の取り崩し金額（円）	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	
⑥他会計から工賃への充当額（円）	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	
⑦支払賃金総額（円）（①-②-③-④+⑤+⑥）	2,109,006 円	2,300,000 円	1,987,653 円	2,100,000 円	2,150,000 円	※対象年度に支払った賃金総額（給与等含む）
⑧年間雇入利用者数（人）	1,228 人	1,250 人	958 人	1,000 人	1,000 人	※雇入人数であることに注意すること
⑨年間開所日数（日）	362 日	362 日	362 日	362 日	362 日	※年間の日数（生産活動を行う日）を記載すること
※1日あたりの平均利用者数（人）（⑧÷⑨）	3.4 人	3.5 人	2.7 人	2.8 人	2.8 人	（休日やその他の事業所で定める休日、レクリエーション等
⑩年間開所月数（月）	12 月	12 月	12 月	12 月	12 月	※生産活動を行わない日を含まない）
※平均工賃月額（⑦÷⑩÷⑨）	51,691 円	54,762 円	61,347 円	62,500 円	63,988 円	65,476 円

3. 生産活動の状況等

- （1）生産活動の収入について
 - 実施状況の欄について、令和7年度に各項目に係る生産活動を実施している場合は、○印を記載すること
 - 新規実施の欄について、各項目に係る生産活動を令和7年度に新たに開始した場合、○印を記載すること
 - 収入額の欄について、全体の就労支援事業収入のうち、各項目に係る就労支援事業収入の金額（円）を記載すること

項目	実施状況	新規実施	収入額（円）	収入割合
農林漁業			3,656,901 円	100.0%
水産養殖			0 円	0.0%
林業			0 円	0.0%
共同受注			0 円	0.0%

- （2）在宅就労について
 - 実施状況について、令和8年3月31日時点の調査対象において在宅で実施する事業及び支援内容が明記されている場合は、○印を記載すること
 - 在宅利用者割合について、実施状況に○印を記載した場合、令和8年3月の実利用者数に占める割合（利用日数のうち在宅の日数割合）を在宅で実施する事業及び支援を受けている実利用者数の割合を記載すること
 - ※在宅利用者割合は、令和8年度2位を基準とし、記載すること。（OK18.2%、NG18.24%、0.182）

項目	実施状況	在宅利用者割合
在宅就労		0.0%

(3) 施設外就労について

○実施状況について、令和7年度に施設外就労を実施している場合は、○印を選択すること

項目	実施状況
施設外就労	

4. 生産活動内容

(1) 生産活動の内容について

○分類の欄について、貴事業所が行う生産活動内容の分類をプルダウンから選択すること（回答は売上の多い順番に記載すること）

○施設外就労の欄について、施設外就労（一部実施を含む）で実施している場合に、○印を選択すること

○活動内容の欄について、貴事業所が行う生産活動内容を具体的に記載すること

項目	分類	施設外就労	活動内容
生産活動(1)	1.農業		しいたけ、さくらげ製造、加工、販売
生産活動(2)			
生産活動(3)			
生産活動(4)			
生産活動(5)			

5. 生産活動の現状、課題、工賃向上のための具体的方策（取組）

(1) 事業所概要

○法人及び事業所の理念・運営方針の欄について、可能な限り、定款等の記載ではなく工賃向上に係る具体的な方策を記載すること

○責任者及び運営体制の欄について、工賃向上計画の推進体制を記載すること（**原則、事業所の全部署を記載すること**）東欄が足りない場合は別紙1に記載すること

法人及び事業所の 理念・運営方針	運営指針「そさえあう」わたしたちは、お互いを尊重しあい、支えあう関係を築きます。 行動指針「どよにいます」わたしたちは、地域活動に積極的に参加し、豊かな地域社会づくりに貢献します。		
	役割	氏名	役職、職名等
責任者及び運営体制	統括責任者	山中 伸人	管理者
		合田 義範	サービス管理責任者
		高川 裕弥	職業指導員
		成野 恵典子	生活支援員
		安田 航夫、刈草 昭一	日働工賃達成指導員

(2) 現状の評価と課題

○現状と課題の欄について、現状と工賃向上に係る課題の具体的な内容を記載すること

○現状の評価の欄について、現状の評価について具体的な内容を記載すること

○課題事項について、工賃向上のため達成しなければならない課題事項として該当するものに○印を選択すること（該当するすべての欄に○印を選択すること）

現状と課題	郡山の地域制からB型利用者の確保が難しく、生産量を増やし売上を上げることが困難	
現状の評価	利用者の安定した雇用確保により収入がアップし、生活が安定。商品の在庫が滞りなく消費される。	
課題事項	販売品に魅力がない	※プルダウン選択
	販売先が限られている	※プルダウン選択
	受注単価が安い	※プルダウン選択
	他事業所とのネットワークがない	※プルダウン選択
	職員の作業負担増大	※プルダウン選択
	職員のコンセンサス	※プルダウン選択
	販売品種が少ない	※プルダウン選択
	立地条件が悪い	※プルダウン選択
	多量の注文が受けられない	○ ※プルダウン選択
	利用者の作業負担増大	※プルダウン選択
	利用者特性	※プルダウン選択
	その他（ ）	※プルダウン選択

(3) 工賃向上のため各年度に取り組む具体的な方策

○改善策について、今後計画している改善策として該当するものに○印を選択すること（該当するすべての欄に○印を選択すること）

○具体的な取組の欄について、各年度ごとに具体的かつ簡潔に記載すること

○効果を上げた取組の欄について、これまで工賃向上に効果をあげた取組を具体的に記載すること（該当ない場合、記載不要）

改善策	品質の向上		※プルダウン選択
	他事業所とのネットワーク化		※プルダウン選択
	生産活動様目の見直し		※プルダウン選択
	千葉県の高金アップ支援事業への積極的な参加		※プルダウン選択
	新商品開発		○
	内部努力		※プルダウン選択
	職員の意識啓発		※プルダウン選択
	販路開拓		※プルダウン選択
	その他（ ）		※プルダウン選択
具体的な取組	令和8年度	しいたけ造の新商品販売により原価2%という利益の確保につなげていく	
	令和9年度	アルファ米を使った非常食を新商品として販売し原価率5%以内にして利益の確保につなげる	
	令和10年度	利益確保して、利用者の給与をアップして安定した盤石な雇用体制を構築していく	

(4) 今後力を入れていきたい生産活動について

○作業名・作業内容の欄については、今後力を入れていきたいと考えている生産活動について具体的に記載すること（現在実施している生産活動に限らない）

○3つ以上記載する場合には、別紙1に記載すること

○作業の特徴の欄については、当てはまる場合に○印、当てはまらない場合には×印、どちらともいえない場合は－を選択すること

作業の特徴の欄については、当てはまる場合に○、当てはまらない場合には×、該当しない場合は空白を記入すること				
作業名・作業内容①				
作業の特徴	事業の将来性	販売・受注の拡大が見込める	×	※プルダウン選択
		生産量を増やすことができる	○	※プルダウン選択
		高い商品力・技術力を有している	○	※プルダウン選択
	事業の意義	利用者の特性に合っている	○	※プルダウン選択
		多くの利用者が関わるができる	○	※プルダウン選択
		利用者の職業能力の開発が見込める	○	※プルダウン選択
		地域とのつながり・貢献度が高い	○	※プルダウン選択
作業名・作業内容②				
作業の特徴	事業の将来性	販売・受注の拡大が見込める	×	※プルダウン選択
		生産量を増やすことができる	○	※プルダウン選択
		高い商品力・技術力を有している	○	※プルダウン選択
	事業の意義	利用者の特性に合っている	○	※プルダウン選択
		多くの利用者が関わるができる	○	※プルダウン選択
		利用者の職業能力の開発が見込める	○	※プルダウン選択
		地域とのつながり・貢献度が高い	○	※プルダウン選択